

AutoCADを利用したデータ編集ソフト **ACD TO ACD** **ACD MG ACD**



本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<https://www.kernelcomputer.co.jp>

特長

1. DWG→DXF 変換, DXF→DWG 変換をおこないます。
AutoCAD を利用して DWG/DXF データを読み込み、新規の DWG/DXF データに出力します。
これにより、DWG→DXF、DXF→DWG への変換をおこないます。同じフォーマットへの出力も可能です。
2. 出力 DWG(DXF)のファイル形式が指定できます。
「AutoCAD 2018 形式」、「AutoCAD 2010 形式」、「AutoCAD 2007 形式」、「AutoCAD 2004 形式」、
「AutoCAD 2000 形式」の指定が可能です。「AutoCAD 2007 形式」から「AutoCAD 2000 形式」等、
別のバージョンへの変換がおこなえます。(使用する AutoCAD のバージョンによってこととなります。)
3. AutoCAD で読み込んだデータの図形を編集します。
 - ・クリッピング
 - ・拡大、縮小
 - ・回転
 - ・イメージ合成やテキスト合成(※ACDMGACD のみ)
4. 複数の DWG,DXF データを合成します。(※ACDMGACD のみ)
ファイルごとの編集が可能です。
5. データの画層を操作します。(※ACDMGACD のみ)
 - ・指定した画層の削除
 - ・画層の情報をテキストファイルに出力
 - ・画層の置きかえ
6. バッチ処理により連続実行が可能です。

動作環境

Windows	7,8,10,11
AutoCAD	AutoCAD 2010~2025

注意事項

対応 OS は AutoCAD の対応 OS に依存します。

標準価格

型番	製品名	価格(税抜き)
KD-CAD0402	ACD TO ACD	25 万円
KD-CAD0403	ACD MG ACD	35 万円

操作方法

ACDTOACD、ACDMGACDはコマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じようにコマンドラインからの実行や、バッチファイルへの組み込みが可能です。

「コマンドプロンプト」でDOSウィンドウを開き、その中で実行します。変換時にオプションを指定することで様々な変換処理が可能となります。

変換を実行するには次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
>ACDMGACD 入力ファイル -O 出力ファイル -各オプション
```

[操作例]

入力ファイル[CLIP.dwg]の左下座標(10,20)、右上座標(100,150)の座標内にある図形をクリップし、CLIP_OUT.dwgに出力する。

```
>ACDMGACD CLIP.dwg -OCLIP_OUT.dwg -CL10 -CB20 -CR100 -CT150
```

オプション

-O[ファイル名]	:出力結果ファイル名を指定します。
-CL[left]	:クリッピング範囲の左側を指定します。
-CR[right]	:クリッピング範囲の右側を指定します。
-CT[top]	:クリッピング範囲の上側を指定します。
-CB[bottom]	:クリッピング範囲の下側を指定します。
-ALL	:全図形をクリップします。
-CLIP_BASE[X,Y] [kiten]	:クリップされた図面を別のデータに合成する際に基点となる座標を指定します。(※ACDMGACDのみ) kiten = 1: オブジェクト範囲の左下を基点とします。(-CLIP_BASE1) 2: オブジェクト範囲の右上を基点とします。(-CLIP_BASE2)
-ERLAYER[ファイル名]	:指定された画層を削除します。(※ACDMGACDのみ)
-LAYEROUT[ファイル名]	:変換結果データに存在する画層情報をテキストに出力します。(※ACDMGACDのみ)
-P[size]	:出力したい用紙サイズを指定します。(A0~A5)
-R[rot]	:回転を指定します。(90,180,270度)
-S[scale]	:スケール値を指定します。 ※-Pが指定されているときはそちらの指定を有効にします。
-TEXTMERGE[ファイル名]	:テキスト、イメージファイルの合成情報ファイルを指定します。(※ACDMGACDのみ)

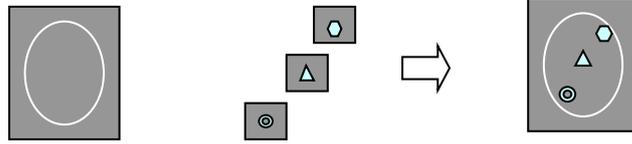
-MERGE[ファイル名]

:複数の DWG,DXF データの合成処理をおこないます。(※ACDMGACD のみ)
merge_file に合成する AutoCAD データの情報を記述します。
前もってこのファイルをテキストエディタなどで作成しておく必要があります。

<既存のデータに対する合成>

次のように入力ファイルを指定して実行すると、合成指示ファイルで記述したデータが、そのファイルのデータ上に合成されます。

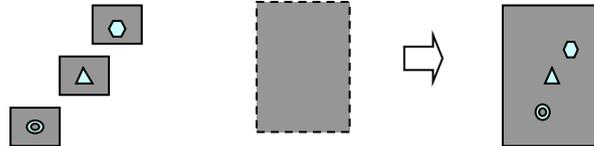
```
ACDMGACD infile -MERGEmerge_file -Outfile
```



<合成によって新規にデータを作成>

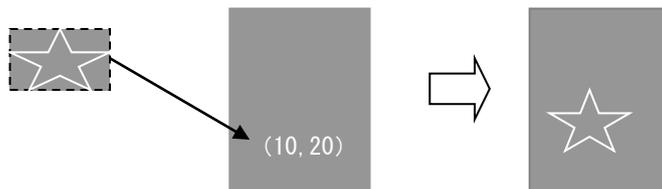
次のように入力ファイルの指定を省略して実行すると、新規に作成されたデータ上に合成されます。

```
ACDMGACD -MERGEmerge_file -Outfile
```



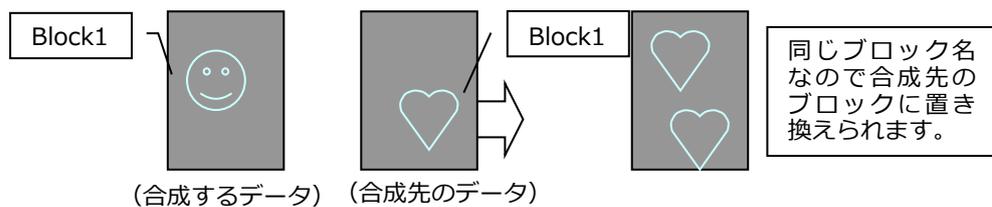
-COMORG[X,Y]

:指定データの合成する位置を指定します。(※ACDMGACD のみ)
データの基点を指定された位置に挿入します。



※合成処理時のブロックについての注意事項

合成先のデータに合成するデータと同じブロック名が存在した場合、
合成するデータのブロックは合成先のブロックに置き換えられます。



-LOG

:ログファイル名を指定します。

-Q

:ヘルプメッセージ

-QV

:バージョン情報

-RIREKI[ファイル名]

:履歴ファイルを出力します。(XML 形式)

-QS[ファイル名]

:DWG,DXF データの図形範囲の最大・最小値を取得し、クリップ指定の有効なエリアとしてテキストファイルに出力します。

-NODISP

:このパラメータを指定すると、プログレスバーが表示されなくなります。

-MODE[flg] :AutoCAD の起動、終了のモードを指定します。
 0:AutoCAD が既に起動されていれば、その AutoCAD を使用し変換をおこないます。起動されていなければ AutoCAD を起動し変換をおこないます。変換後 AutoCAD を終了しません。
 1:AutoCAD が既に起動されていれば、その AutoCAD を使用し変換をおこないます。起動されていなければ AutoCAD を起動し変換をおこないます。変換後 AutoCAD を終了します。(デフォルト)
 2:AutoCAD が既に起動されていれば、その AutoCAD を終了させます。変換をおこないません。

-BATCH[ファイル名] :バッチファイルで指定されたファイルまたはディレクトリ内のファイルを一括処理します。
 <使用方法>
 処理内容を記述したバッチファイルを-BATCH オプションで指定し実行します。

```
>ACDMGACD -BATCH[バッチファイル名]
```

<バッチファイルの指定方法>

バッチファイルの指定方法は下記の通り

入力ファイル -O 出力ファイル [オプションパラメータ]

<バッチファイルの例>

(1)指定された領域を編集し新しいファイルを作成します。

```
Data1.dwg -CL10 -CB10 -CR100 -CT200 -OnewData1.dwg  
Data2.dwg -ALL -P4 -OnewData2.dwg
```

(2)同じディレクトリのデータを A4 に編集し新しいファイルを作成します。

```
C:¥test¥*.dwg -ALL -P4 -OC:¥test¥*.dwg
```

<制限事項>

- ・バッチファイル内で指定できるファイル名(ディレクトリを含む)は最大 255 文字までです。
- ・スペースを含むファイル名を指定することはできません。
- ・入力ファイル名にワイルドカードを指定した場合、処理されるファイルの順番はアルファベット順になります。
- ・出力ファイル名には、必ず拡張子を指定してください。
- ・バッチファイルの中に-BATCH オプションを記述することはできません。

主な制限事項

- ◆ ファイル形式の変換のみをおこなう場合は、モデル空間・ペーパー空間ともに変換可能です。クリッピングなどの編集機能を指定される場合は、変換対象はモデル空間のみとなります。
- ◆ クリッピングやスケーリング等の図形の編集をおこなった場合は、レイアウト等の情報は失われます。
- ◆ 出力される DWG/DXF ファイルの内容は AutoCAD の保存機能に依存します。
- ◆ 多重起動はできません。
- ◆ クリップ機能を使用される場合、領域内にオブジェクトが存在しないと出力ファイルは出力されません。
- ◆ セキュリティがかかっているデータに関しては変換ができません。
- ◆ 変換中に AutoCAD 画面が表示されますが、オペレーティングをおこなわないでください。もし、オペレーティングをおこない AutoCAD が終了されなかった場合、特に問題はありますが手動で AutoCAD を終了させてください。また、非表示の状態で止まっている場合もありますので、その場合はタスクマネージャから AutoCAD を終了させるかまたは、-MODE2 を指定して終了させてください。
- ◆ AutoCAD LT では動作しません。
- ◆ サービス上での動作には対応していません。